

「県産材利用部門」

宮崎県木材会館（宮崎市）（実施主体：宮崎県木材協同組合連合会）

- 特徴：県庁の南側に、ひととき目立った柿色の外壁をまとった宮崎県木材会館は、令和3年5月に施主である宮崎県木材協同組合連合会と関連する4団体の事務所が入居し供用を開始しました。

木材関係団体らしく、同館には構造材・内装材とも会員企業が生産する県産のスギやヒノキを徹底して利用し、無垢材の魅力を追求しています。特徴的な部分としては、大会議室の収納天板にはケヤキやタモなど数種類の広葉樹を使用し木材の展示見本としても活用でき、また外部のポーチ柱には複数の樹種や防腐薬剤を使って、耐久性の比較検証が行えるようになっています。

また、敷地周囲の木堀には、通常は製紙用チップや燃料とされる柱材の端材を積み重ねて使用し、資源の有効利用と意匠性の両立も実現しています。

なお、当施設はパブリックスペースとなっており、窓からの眺めの良い2階のキッチンや、パンフレット等の資料が豊富な1階の資料閲覧スペースは誰でも利用可能で、木材に包まれた心地よさを体感することができます。

